

1月10日 老人達の雪遊び 「綿向山」

小川 弘二

山名	老人達の雪遊び 「綿向山」	山行名	個人山行
ルート	京田辺→蒲生スマート IC→御幸橋 P→表参道→3合目あざみ小屋→5合目小屋→7合目行者コバ→冬道・直登→綿向山頂上→竜が岳分岐→寄道→御幸橋 P→京田辺		
山行日	2022年1月10日(月) 老人の日	天候	快晴
参加者	リーダー：小川(74歳) サブリーダー：若林(75歳) 男性：山下(隆)(82歳)・廣瀬(71歳)・植西(89歳 卒寿) 参加者計 5名 ・平均年齢 78歳2か月		

ルート概略図 	コースタイム				
	地名	時：分	地名	時：分	
京田辺	発	06：00	頂上・ 昼食	着	10：43
	着			発	11：30
御幸橋 P	着	07：35	寄道	着	11：50
	発	07：50		発	12：06
3合目あ ざみ小屋	着	9：13	御幸橋	着	14：10
	発	9：16		発	14：20
5合目 小屋	着	9：34			
	発	9：40			
7号目 行者コバ	着	10：05	京田辺	着	15：50

明けましておめでとうございます。今年も宜しくお願いします。

今回は個人山行でもあり、感想文の掲出は止めようと思っていたが、会員の皆様及びOBの方々にも二人の長老の元気な姿と雪山の素晴らしさを見て頂いて、コロナ禍の年を元気に乗り切って戴こうと思い投稿することになりました。

3連休前は近年にない寒波が到来し、関西の山々も積雪量が増え、当初の計画では湖北の山に行く予定であったが年齢的に考えてワカンでのラッセルは避けようとアイゼンだけで登れる綿向山に決定。

人気の山であり7時半過ぎに着いたが御幸橋の第1駐車場は満杯であったが第2駐車場に駐車できた。ヤマレコの情報では1/8は100台程度の車が駐車しており、路肩駐車も多く警察からの警告ラベルが多く貼られていたということです。

登山口のひずみ小屋でアイゼンを装着し登り始めたが2合目位までは雪解けの泥道で歩きにくい。然し次第に雪が深くなって3合目のあざみ小屋付近で40cm、頂上付近では1メートル近くは積もっていたのではないかと思います。

雲一つない好天と風も無い暖かさの為、7合目から頂上に掛けての冬道では例年樹氷の花が咲き乱れているのだが残念ながら今年はなし。但し頂上手前の竜王山への分岐からの尾根筋はモンスターの子供ができており、例年にない雪景色が楽しめた。

これで5回目となるがいつもは寒さに震えながら風を避けて弁当を食べたり、下山して5合目の小屋で食べたりしていたが、こんな晴天と暖かさは初めての経験で雪景色を施した雨乞岳や鎌ヶ岳を見ながら寛いで昼食を食べることが出来ました。

下山時は少し寄道をして竜王山への分岐から尾根筋を進みモンスターの子供の写真や北北東方面の霊仙山や伊吹山、その奥の白山の雪景色を撮ったりしながら下山。

来年の暮れには植西翁は満90歳となられるのでお祝いを兼ねて又、山に来ようという誓いしながら家路に着く。

ヒヤリハット：なし

感想文

山下隆

この2-3年は雪不足だったが昨年暮れからは寒波がたびたびある。昨年の3月初めに残り雪を楽しもうと 蛇谷峰を計画したが、その時期にはすでに雪は無く、それではと早春の花を求めて、鈴鹿山系の藤原岳に急遽変更。頂上にわずかに残雪はあり、花には早すぎ、登山道では雪解けのドロコ道に苦戦したがそれなりには楽しめた。今回、雪山の誘いがあり、青空の下での霧氷は暫くご無沙汰しているので、参加意欲が湧き上がってくる。

綿向山は霧氷で有名と聞いてはいたが、初めてゆえ、立派な霧氷と青天を期待しつつ参加する。当日はびっくり 数年に一度しか味わえないような晴天でかつ風も無し。自称晴男の W さんは鼻高々。先週の愛宕山に続き、今年の出だしは運がいいぞ！！

7合目あたりから始まる急坂はつらく、頂上まで続く。踏み跡が階段状になっているところはいいが、踏み固められた単純な斜面はキツイ。斜めにのぼる。降りてくる方の情報では霧氷はあまり期待できそうもなかったが、9合目あたりからは頂上の尾根にマンモスのような樹氷が見えた時は疲れも吹っ飛び、最後の急坂を頑張る。

頂上周辺は広々とし、雪一面に覆われ、風もなく穏やかな日和。これぞ望んでいた晴天だ。ほとんどの方が雪景色を眺めながらゆったりと休憩や食事。我らもその中に腰をすえる。若い女性連中は100円ソリで歓声をあげていた。



9合目から見えたマンモス方面に行くとき風が穏やかなので霧氷はまだ木々にしっかりとついていて感激し、やたらとシャッターを切る。これ以上の満足は無かった。

この年でこんな素晴らしい山行が出来る幸せを感じる。仲間にも恵まれた山行でした。天気予報を見て晴を狙っての近場の雪山山行は素晴らしい。現役の方々には申しわけないが、リタイア後の楽しみにして下さい。

帰路の途中では得意なツリに見舞われ、先週に引き連続2回目となる。今年のツリはこれで終わりにしたいものだ。



社会人になって数年後会社の同僚と新潟県妙高山にスキーに出かけ大怪我した事で雪山に対してトラウマに成っていた事や、出生が南でも有り寒さに対して抗体が無く好んで雪山は行かなかったが、今回小川さんより長老様のお世話係兼サポートも含めてお誘いを受け雪山に行く事になった。



人気の山と連休最後の日でも有り駐車場確保が心配で早朝 6 時過ぎ出発との連絡を受けた。綿向山駐車場(無料)登山口近くで数か所確保されており全く問題はなかった。中部地区の方や関東方面の方も来られており人気の山で有る事が読み取れた。問題なく駐車も出来たが周辺には残雪のみで雪は無く心配も登るにつれアイゼンの有難さを感じる雪に出会えた頂上の積雪は 1.0m あったのではないかと



今回参加者 5 名の平均年齢 何と 78.2 歳 この年齢で本当に雪山登山は大丈夫なのか不安がよぎるも全く心配無用 最長老様の健脚は聞きしに勝る通り逆に我々がサポートされる行動に改めて啞然 綿向山最後の急登も息切れされることも無く平然と行動される姿はまるで仙人を予見。

同行者の少し若い長老様も看過する事無く影響を受け無難にクリアと思いきや冷え込みと頑張りすぎた反動で、釣り仲間会を復活する話題も出たが最後までご自分の足で完歩された。多分この年齢の雪我が山行会にレジェンド誕生の瞬間を感じた。

名山行は京都田辺山友会のギネスに登録されるのではないかと。

名誉会員の扱いで今後共後輩の目標と成って頂ければ有難い。

同じメンバーで毎年ギネス更新を誓い 風も無く快晴に恵まれ頂上付近では樹氷も見られ楽しい雪山登山を終えた。

往復の運転からエントリーまでお世話になった小川さん有難うございました。来年も山友会ギネス更新の為ご協力宜しくお願い致します。



一口感想

廣瀬

三連休最後の10日に老人5名で綿向山を楽しんできました。

道中雪のかけらもなく不安でしたが、「さすが綿向山」最初の山小屋からアイゼンを装着する。

過去の綿向山は7合目からの直登の冬山道で吹雪に苦しめられましたが、今回は穏やかな天候にめぐまれ、のんびりと景色を愛でながらの登りを楽しめました。

広い頂上は風もなく大勢の登山者がのんびりと食事をし、ソリに興じ黄色い声が飛び交っていた。

東正面に堂々とした雨乞山、少し離れたところに尖った鎌ヶ岳が存在感を示していた。遠く北方向に雪に覆われた伊吹山が姿を見せていた。



すっきりした青空と目前に広がる雪山の連なりをながめながら、ゆったりとした時間を過ごし下山開始。

途中、一人で下山する色気をかもす女性をモテ男が早速ナンパ。麓まで同行することとなった。

今回のパーティの平均年齢は78歳とか！年を感じさせない！元気である。まだまだ色気も持っている？

また来年同じメンバーで挑戦したいと誓い合って解散した。

車中での会話から

植西さん

今まで百姓仕事は1人でやってきた。30kgの米袋を持って運ぶことはさすがに去年から難しくなったがまだまだトラックに積み込む作業(30kgの米袋を100個程)は1人でやっている。今年からは息子がやってくれそうなので頑張って山にも行きたい。

山だけではなく、飲み会にも誘って欲しいし、テント泊にも行きたいので宜しく頼む。

今までずっと働いてきたので今後は余生を楽しみたい。

